

30周年  
ありがとう!



# マイタウン オーケストラ 広響

おめでとう、ベートーヴェン250歳

&  
世界のみならず行進曲

30年目のマイタウンオーケストラ広響は、  
生誕250年を迎えるベートーヴェンの作品と  
世界のマーチをおおくりします!



指揮: 佐々木新平 (2/29、3/1)

沖澤のどか (3/20、21、22)

水戸博之 (3/27、28、29)

管弦楽: 広島交響楽団

入場料

(全席自由)

おとな1,500円 こども1,000円 (3才以上中学生以下)

公演日時・会場

(開場は各開演の30分前)

2/29(土)	14:00~	南区民文化センター
3/1(日)	14:00~	佐伯区民文化センター
3/20(金・祝)	14:00~	安芸区民文化センター
3/21(土)	14:00~	東区民文化センター
3/22(日)★	14:00~	JMSアステールプラザ大ホール
3/27(金)◆	14:00~	安佐北区民文化センター
3/28(土)	14:00~	西区民文化センター
3/29(日)	14:00~	安佐南区民文化センター

チケット取り扱い

チケット発売日:  
12月13日(金)

全公演 (各公演ごと) 各区民文化センター

★3/22 JMSアステールプラザ公演は下記でも取扱い  
広響事務局、エディオン広島本店、福屋広島駅前店、福屋八丁堀本店、  
チケットぴあ(Pコード168-799)、ローソンチケット(Lコード 61341)

◆3/27 安佐北区民文化センター公演は下記でも取扱い  
広響事務局、チケットぴあ(Pコード168-799)、  
ローソンチケット(Lコード 61341)

## プログラム

### ●ベートーヴェン生誕250年記念●

●[音楽物語]ある音楽家との出会い「二階のベートーヴェン」  
(ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」、  
第6番「田園」、第9番「ほがよい」ナレーション付)

### ●Alle Menschen werden Brüder ~「すべての人と手をとりあって」世界のマーチから~●

●**黛敏郎**: スポーツ行進曲

●**グノー**: あやとり人形の葬送行進曲

●**ビゼー**: オペラ「カルメン」~衛兵の交代

●**エルガー**: 行進曲「威風堂々」第1番

人気の  
指揮者体験  
コーナーも  
あるよ!

主催/広島交響楽協会 共催/広島市文化財団 特別協賛/中国電力 協賛/オタフクソース

後援/広島市PTA協議会、広島市南区・佐伯区・安芸区・東区・中区・安佐北区・西区・安佐南区PTA連合会、広島市、広島市教育委員会、中国新聞社、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅービー76.6MHz

※ご来場には公共の交通機関をご利用ください。 ※やむを得ぬ事情により、出演者および曲目を変更する場合がございます。



30周年  
ありがとう!

# マイタウン オーケストラ 広島 響

おめでとう、ベートーヴェン250歳&世界のみならずと行進曲



指揮：佐々木新平 Conductor: Shimpei Sasaki 2/29南区、3/1佐伯区

秋田県出身。東京学芸大学芸術文化課程音楽専攻を経て、桐朋学園大学にて指揮を専攻。ヨーロッパ各地の国際指揮マスタークラスに選抜され巨匠たちの薫陶を受ける。2013年よりミュンヘンへ留学し一層の研鑽を積んだ。2012年及び2017年フィテルベルク国際指揮者コンクールにおいてディプロマ、2015年プザンソン国際指揮者コンクールにおいて本選最終の8人に選出。これまで国内主要オーケストラに客演。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団においては2010年より指揮研究員を経て、2019年9月までアソシエイト・コンダクターを歴任。近年では映画やゲーム音楽等のレコーディングや公式オーケストラコンサートの指揮も多く務め、多方面に活動の幅を広げている。広島交響楽団とは昨年度のマイタウンオーケストラに引き続き共演となる。

ウェブサイト <https://shimpeisasaki.b-sheet.jp>

指揮：沖澤のどか Conductor: Nodoka Okisawa 3/20安芸区、21東区、22JMSアステールプラザ

青森県出身。東京藝術大学音楽学部指揮科首席卒業。卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞を受賞し、新卒業生紹介演奏会に出演。同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程修了。

ハンス・アイスラー音楽大学ベルリン修士課程オーケストラ指揮専攻修了。

第18回東京国際音楽コンクール(指揮)にて第1位及び特別賞、齋藤秀雄賞を受賞。

2019年プザンソン国際指揮者コンクール優勝。合わせてオーケストラ賞、聴衆賞を受賞。

これまでに指揮を田中良和、松尾葉子、高関健、尾高忠明、クリスティアン・エーヴァルトの各氏に、オペラ指揮をハンス・ディーター・パウム氏に、現代音楽指揮をマヌエル・ナヴリ氏に、コレペティションをアレクサンダー・ヴィトリン、デヴィッド・ロバート・コールマンの各氏に師事。

オペラの分野でも活動を広げており、2018年6月、神奈川県民ホール主催『ヘンゼルとグレーテル』で急遽指揮者の代役を務めた。2017年ベルリンドイツオペラにて新作オペラ『Neue Szenen』を指揮した。



©Taira Nishimaki



指揮：水戸博之 Conductor: Hiroyuki Mito 3/27安佐北区、28西区、29安佐南区

東京音楽大学及び同大学院作曲指揮科(指揮)を卒業。在学中にサントリーホール主催レインボウデビューコンサートに出演。

これまでに札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、広島交響楽団などに客演。

東京混声合唱団とも共演を重ねており、同合唱団定期演奏会の他、文化庁公演などを指揮する。

現在、オーケストラトリプティーク常任指揮者、東京混声合唱団コンダクターインレジデンス、八王子ユースオーケストラ副指揮者。

また2016年より一年間、NHK交響楽団にてパーヴォ・ヤルヴィ氏のアシスタントを務めた。



管弦楽：広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

国際平和文化都市“広島”を本拠地とし、中国地方を代表するプロオーケストラ広島響は、2017年4月から下野竜也が音楽総監督を、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者を務めている。2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた秋山和慶は、2017年より終身名誉指揮者に就任した。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約140回を超える演奏活動を行っている。これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>